

微量PCB混入可能性に関するサンプル調査について

1. 対象メーカー

微量PCBの混入可能性が完全には否定できない企業（7月時点で指示のあった6社）
（愛知電機、高岳製作所、中国電機製造、東北電機製造、富士電機、北陸電機製造）

2. サンプル調査の目的

微量PCB混入の可能性が完全には否定できない期間における、微量PCB混入の有無

3. サンプル調査の考え方

- (1) 調査対象期間は、各社の微量PCB混入の可能性が完全には否定できない期間とする。
- (2) 1ロットの間隔は各社の状況に合わせて、下記のいずれかとする。
 - ①再生油を保管タンクに補充する間隔
 - ②タンクローリーから保管タンクに補充する間隔
 - ③ドラム缶購入の間隔
- (3) 検体数は、1検体以上/ロットを目標とする。
- (4) サンプル調査では、0.5ppm超過を微量PCB混入の判別値とする。
- (5) 油分析については、第3者機関に依頼する。
- (6) 検体については、変圧器納入後の油の保守履歴を確認する。

4. 各社のサンプル調査一覧

	愛知電機	高岳製作所	中国電機製造	東北電機製造	富士電機	北陸電機製造
調査対象期間	'77,'79,'82,'83,'84	'68~'69	'68~'89	'76~'89	'75~'89	'78~'89
目標検体数 合計(台)	9以上	12以上	27以上	19以上	10以上	12以上

5. サンプル調査のスケジュール

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. サンプル選定 (ユーザーの洗い出し)	←	→							
2. ユーザーへの採油依頼		←	→						
3. 絶縁油のサブリング			←	→					
4. 分析および分析結果の 整理・まとめ(原因究明)				←	→				
5. 分析結果の評価 および報告							←	→	

以上